

コンサルテーション ～市教育委員会との連携・協働をととして～

教育相談の充実に向けて

・本校（巡回相談は市教育委員会が調整、本校に派遣依頼。）

	学校見学・就学相談	巡回（訪問）相談	電話相談
幼稚園・保育園	3	26	1
小学校	12	29	2
中学校	17	2	1
高等学校	0	0	0
計	32	56	4

・希望型（保、幼、小、中）
・特別支援教育指導
補助員配置校型（小、中）
・自立活動相談研修型（小、中）

継続的に相談を受けて
いる学校園は、全体の
88パーセント！

・総リハ訪問学級（睡眠・整形に関する相談）
・分教室（精神疾患に関する相談）

	総リハ訪問学級		分教室
	睡眠	整形	
小学校	3	0	4
中学校	25	3	31
計	31		35

成果と課題

丁寧な聞き取り・・・バックグラウンドを含めた情報収集
個別の指導計画に基づいた課題の把握



有効な指導支援に関する相談・・・今日からできる支援
個人から集団へ



継続的な支援・・・UDの視点が浸透
学級や学校園全体で集団を支援する体制
学校園の解決力がついてきた

※課題・・・支援が必要なその他の学校園を把握できていない

学んだこと

- ・継続的な支援・・・個人の支援から集団の支援
- ・コンサルティの現状を把握
- ・・・・できていることを伝える（信頼関係の構築）
今日からできそうな支援方法をアドバイス
- ・経験に基づいたアドバイス・・・実践を積むこと

実践活動の今後に向けて

- ・現場に足を運んで、経験を積む
- ・次を担えるコーディネーターの育成



今後の地域支援について

知的部門・・・市への情報発信及び、今後の
ニーズの把握

病弱部門・・・筋ジストロフィー、重症心身障害、
その他の疾患における病弱教育についての専門性の向上

